

公衆衛生看護管理論Ⅱ

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

地域保健計画の策定と施策化、予算化について、地方自治体の実践例を通して学ぶとともに、地域保健活動の基盤となる地域ケアシステムの形成過程と、システム運用における保健師の役割を理解する。その上で、災害発生時や感染症等の健康危機管理時の対応について学修し、保健師としての具体的な活動を認識し、取るべき行動を考えることができる。そして保健師活動の基礎となる活動体制の在り方を理解し、保健師の資質向上について学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

公衆衛生看護管理の特徴を学ぶことで、地方自治体の保健計画作成のあり方と予算の編成やしきみを理解することができる。また、支援事例や地区活動の取り組みを評価し、地域の健康課題解決のために必要な地域ケアシステムを構築する過程と保健師の資質を理解することができる。更に、健康危機管理時の対策や地域保健活動を円滑に行うため体制づくり・ケアの質向上の方策についても考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 公衆衛生看護管理の目的およびその機能を理解し、管理機能が連動した活動展開を説明できる。
2. 地方自治体の地域保健計画策定と予算化の過程を説明できる。
3. 地域ケアシステムの発展過程を理解し、システム構築に求められる保健師の資質を説明できる。
4. 健康危機管理に対する行政保健師としての役割を説明できる。
5. 保健師活動におけるケアの質保証と、キャリア開発を考えることができる。

・授業日程

【講義】

会場：トクタヴェール講義室2、マルチ4-A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
6/4 火 1限	<p>【授業内容】公衆衛生看護管理の目的・機能(教科書:p.186~205)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護管理の目的・機能・特徴を説明できる ・情報管理の意義と留意点を説明できる <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:30分】教科書「公衆衛生看護学概論」を読んで、公衆衛生看護管理の目的・機能をまとめる</p> <p>【事後学修:90分】公衆衛生看護管理に関する課題を行い、疑問点を調べる</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
6/4 火 5限	<p>【授業内容】地域ケアシステムの形成(教科書:.jp p.157~164)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアシステムの概念を理解し、ケアシステム構築の段階を説明できる ・実習地域の高齢者の生活と健康支援のための、自助・互助・共助・公助を考慮したケアシステムづくりを考えることができる(グループワーク) <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習地域(市町村)の高齢者に関する健康課題と社会資源マップを整理して、講義時に持参する ・教科書「公衆衛生看護学.jp」の地域ケアシステムの形成を読み、要点をまとめる <p>【事後学修:180分】実習地域の高齢者支援事業を整理して提出する</p>	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

6/13 火 3限	<p>【授業内容】健康危機管理(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントとしての、事業継続計画とリスクコミュニケーションを説明できる ・フェーズ毎に個人/家族や地区/小地域に生じる生活課題と健康課題に対する保健活動の方法を説明できる ・災害発生時の都道府県および市町村保健師の役割について説明できる <p>【関連するSBO】4</p> <p>【事前学修:60分】フェーズ毎に生じる保健医療福祉のニーズと課題を調べる</p> <p>【事後学修:120分】災害保健活動に関する課題を行い、疑問点を調べる</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
6/24 月 3限	<p>【授業内容】行政分野における看護管理機能:組織ケアマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織管理、予算管理、人材管理の意義と留意点について説明できる ・キャリア開発のツールである、保健師のキャリアラダー、キャリアパスを説明できる ・グループワークを通して、自己成長としてのキャリア開発のあり方を考えることができる ・日常の保健活動において研究的な視点をもつ必要性を説明できる <p>【関連するSBO】1、2、5</p> <p>【事前学修:30分】保健師になった時の夢を考えてくる</p> <p>【事後学修:90分】組織ケアマネジメントに関する課題を行い、疑問点を調べる</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
6/28 金 2限	<p>【授業内容】行政分野における看護管理機能:地域ケアマネジメント～地区管理(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区管理の意義と留意点について説明できる ・実習地域の防災、減災について、地区担当保健師が行う平常時の予防対策を考えることができる ・社会資源マップを用いて実習地域の実態を発表し、討議できる <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修:180分】実習地域の防災マップ等既存資料から、地区の災害リスクを社会資源マップにまとめ、講義時に持参する</p> <p>【事後学修:60分】社会資源マップに不足な点を加筆修正し提出する</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
7/1 月 1限	<p>【授業内容】行政分野における看護管理機能:地域ケアマネジメント～事例管理1(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例管理の意義と留意点について説明できる ・地区管理で把握した個別支援が必要な事例について、計画立案ができる <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修:180分】実習地域の子育て支援活動を調べ、課題をまとめて講義時に持参すること。事例に対する訪問計画を立案し講義時に持参する</p> <p>【事後学修:150分】グループワークを振り返り、実習地域の子育て支援活動をふまえ、今後の計画を加筆し、提出する</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
7/1 月 2限	<p>【授業内容】行政分野における看護管理機能:地域ケアマネジメント～事例管理2(ロールプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援の必要な事例への支援を、実践することができる ・家庭訪問の相互評価ができる ・事例への今後の支援を検討し、訪問結果を記録できる <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修:150分】月齢に合わせた保健指導(ロールプレイ)ができるように準備をしておくこと</p> <p>【事後学修:180分】演習を振り返り、訪問結果を記録し提出する</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
7/4 木 1限	<p>【授業内容】行政分野における看護管理機能:地域ケアマネジメント～事業管理(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業管理の意義と留意点について説明できる ・各保健福祉計画と事業を関係づけることができる ・事業の実施計画の構造を説明できる <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事後学修:150分】実習地域の成人保健事業を予防レベル、対策別に整理して提出する</p>	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版	標美奈子	医学書院	2022
教	公衆衛生看護学 .jp 第5版	荒賀直子	インターメディカル	2020
参	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第5版	中村裕美子	医学書院	2023
参	標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論 第5版	藤内修二	医学書院	2021
参	新版保健師業務要覧 第4版 2024年版	井伊久美子	日本看護協会	2024
参	最新公衆衛生看護学 第3版各論2	宮崎美砂子	日本看護協会	2022
参	これからの保健医療福祉行政論 第3版	星旦二	日本看護協会	2022
参	保健学講座2 公衆衛生看護支援技術	岸恵美子	メヂカルフレンド社	2022
参	公衆衛生看護学テキスト第2巻 公衆衛生看護の方法と技術第2版	佐伯和子	医歯薬出版	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験30%、指定した提出課題70%
【形成的評価】適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績には反映しない。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。
・レスポンスカードや課題については、適宜コメントを伝え、フィードバックする。
・試験のあとは、WebClassに必要な解説を掲載する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
保健師(別表1):公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター(EPSON EB-L610WVPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
演習	書画カメラ(P-100)	1	講義用資料投影
演習	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義用資料投影